

# 藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和4年 11月25日  
横浜市立藤塚小学校  
学校だより 12月号  
TEL (351) 2314  
FAX (351) 7349  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

## 人々との出会い 体験との出会い

校長 藤田 陽子

ある日の授業風景です。道徳の学習で児童が話し合いをしていました。  
「土曜日に昔あそびに行ってあそんだよ。楽しかった。」  
「今年は、夏のおまつりに行けたのでうれしかった。」  
「お母さんに聞いたら、自分がちいさいときに『おもちゃばこ』で友だちとあそんでいたんだって。」  
「わたしは、藤塚太鼓の練習を毎週日曜日に続けています。」  
「毎朝、朝ボラさんや学校のあいさつ隊の人にあいさつをしてもらうからうれしい。」

授業で活用している読み物資料の主人公は、これまで当たり前のように受け止めてきた『まちの良さや素晴らしさ』に気付き、より一層自分のまちを好きになり、大切にしていこうとする気持ちを高めていきます。児童はそのような姿に自身を重ね、自分たちの住んでいる地域への気付きを語り合っていました。

教室には、日頃児童が当たり前のようになっている、学校にかかわるボランティアの方々や地域の方々のご支援や様々な活動の足跡が、写真や言葉、映像などで用意されていました。これらの足跡をもとに、児童は自分のこれまでの体験を振り返り、こうした体験やご支援をしてくださる方々の思いに気付いたり、人々に支えられていることの喜びを言葉に表したりしていました。

その日の午後には、5年生が育ててきた藤塚米の脱穀が行われました。米ボランティアの皆さんに教えていただきながら、児童は田植え、水の管理、観察、稲刈りなど、米ができるまでの一連の体験に取り組むことができました。子どもたちは、このような貴重な体験と同時に、児童の目に見えるところで、そして目に見えないところで子どもたちの体験や喜び、驚きを支えてくださったボランティアの方々の思いを受け取ることができました。

道徳学習で登場した読み物資料の主人公は、学校に通う通学路をたどりながら物語の最後に次のように感じます。

～いろいろな 人に あえて、 いろいろな ものを 見て たのしくて～

藤塚小の子どもたちも、まちで、通学路で、そして学校で、多くの方々に出会い、体験をさせていただき喜びを知る、そんな時間をいただいています。

